
東方霊憑録

彰人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方霊憑録

【Nコード】

N3977Y

【作者名】

彰人

【あらすじ】

遊戯王の数あるカードの中に、霊使いと呼ばれる少女達がいる少女達がもし、幻想入りしたら？と言う二次創作です

霊使いの少女達と幻想の少女達が交差する時・・・
物語は始まる・・・

霊使いが好き、東方が好き、と言うあなた、少し読んでみてくださいませんか？

神隠し！？霊使い達が幻想入り！（前書き）

霊使いと東方が合わされば面白いはずだ！

と言う友人とのやりとりから生まれた作品です

では！始まります！

神隠し！？霊使い達が幻想入り！

とある次元に存在する

遊戯王と呼ばれるカードゲームに登場する

モンスター達が住んでいる世界

そこにある

魔法の森と呼ばれる場所

そこに霊使いと言う特殊な力を持つ4人の少女がいた

「なーなー！早く試してみようぜー！」

この騒がしい赤髪の少女はヒータ

この一行のムードメーカー

「試すのは構いませんが・・・やっぱりまだ早いんじゃないでしょうか・・・」

この眼鏡をかけた知的な女の子はアウス

普段は冷静なのだがすぐ取り乱してしまうのが玉に瑕

「そうだねえーあーちゃんの言うとおりでと思うな」

このおっとりした緑髪の少女はウィン
みんなに愛されている癒し係兼ペツ・．．なんでもないです．．

「そうよ、そもそも次元移動なんて大規模な魔法
私達にはまだ早すぎるわよ。」

この青い髪の少し大人びた女の子はエリア
一行のまとめ役みたいなものを自称している

「えー！いいじゃんかよー！減るもんじゃなしー」

ヒータが駄々をこねる、それを見ながら
一同は溜息をついた

この「次元移動」と呼ばれる
大規模な術式が見つかったのは今朝方
確かにみんなも試してみたい気持ちはあった

だがいかんせん自分達では魔力が足りないのだ
その為、全員でヒータをなだめる方法を考えていたのだが・・・

「ハア・・・」

傍らで駄々をこねるヒータを見やる

どうせやらないとずっとこのままなんだろうな・・・と

「仕方ないわね・・・一回！一回だけよ！
失敗したら諦めなさい！」

妥協案を出したのはエリア
どうやらめんどくさくなってしまうたらしい

「そう・・・ですね、そうしないと終わりそうにないですし。」

続けたのはアウス
とりあえず、その案に乗ってみるようだ

「ん？いいのか！？やったー！」

「よかったねーひーちゃん！」

何故かヒータと一緒ににはしゃぐウィン
それを見るエリアの表情が若干危ないが・・・
キニシテハイケナイ

「コホン！それじゃあ、早速やるわよ！」

「おう！」「はい！」「うん！」

まとめ役のエリアが号令をかける
一同は
それぞれ位置につき
詠唱を始めた
そして・・・

（クッ！やっぱり魔力が足りない！）

エリアが心中でばやく
やはり無理か・・・
と、諦めかけたその時

「力を・・・貸してあげましょうか？」

静寂な空間に響く
曇りの無い美しい声
それはこの場にいる誰のものでもない

「次元移動・・・ね、あなた達、面白いわ
私が連れて行ってあげる・・・」

「「「「「！？」」」」」

詠唱を始めた4人の前に現れたのは
日傘を差した美しい女性

だが、纏っている雰囲気は常人とはかけ離れていた

「逃げろ！」・・・本能がそう告げている・・・だが

(詠唱中だから・・・動けない!?)

この女はこれを狙っていたのか・・・!?
エリアがそう思った瞬間

「なっ・・・!?空間が・・・」

目が大量に浮かぶ謎の空間が現れた
4人は開いた空間に吸い込まれていく
そして・・・

「いたた・・・あれ？ここは・・・」

吸い込まれてしばらく

エリアが意識を取り戻した頃には
周りにはもう誰もいなかった

そこは、向日葵が咲き誇る

自分のいた世界では見たことも存在もしない筈の場所

（魔法の森とは明らかに違う・・・

どうやらどこかへ転移させられたようね）

「まさか、次元・・・移動？」

（成功した？いや、恐らくあの女の仕業
いや、今はそんなことはどうでもいい、とりあえず・・・）

「みんなを探さないと・・・」

エリアは自らが転移した場所
通称「太陽の畑」から
移動を開始した

「フフフ♪霊使い・・・ね、また面白くなりそうだなわ♪」

彼女達を通称「幻想郷」と呼ばれる場所に転移させた
張本人、八雲紫は、その姿を見ながら
一人笑みを浮かべるのだった・・・

神隠し！？霊使い達が幻想入り！（後書き）

感想・ご意見などがありましたらお願いします！（＊、D、＊）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3977y/>

東方靈憑録

2011年11月10日15時10分発行